

2027年度 UNHCR 難民高等教育プログラム募集要項

龍谷大学大学院（修士課程・博士後期課程）：日本語で学位を取得することを目指す者

1. UNHCR 難民高等教育プログラム

UNHCR 難民高等教育プログラム（UNHCR Refugee Higher Education Program: RHEP）は、パートナー大学との協働により、UNHCR および RHEP 難民教育推進協会が運営し、その実施事務局の名称を UNHCR 難民高等教育プログラム事務局（以下「RHEP 事務局」）としています。

2. 募集内容

龍谷大学大学院との協働によって実施される難民高等教育事業の対象となる者を上限 **1名**(※)まで選考し、同大学大学院に推薦します。

※学部で1名、もしくは大学院で1名のいずれかとします。

1) 募集研究科

研究科	専攻	
	修士課程	博士後期課程
文学研究科	真宗学専攻、仏教学専攻、哲学専攻、教育学専攻、 日本史学専攻、東洋史学専攻、 日本語日本文学専攻、英語英米文学専攻	真宗学専攻、仏教学専攻、哲学専攻、教育学専攻、 日本史学専攻、東洋史学専攻、 日本語日本文学専攻、英語英米文学専攻
心理学研究科	臨床心理学専攻	臨床心理学専攻
経済学研究科	経済学専攻	経済学専攻
経営学研究科	経営学専攻	経営学専攻
法学研究科	法律学専攻	(募集なし)
政策学研究科	政策学専攻	政策学専攻
国際学研究科	国際文化学専攻、グローバルスタディーズ専攻、 言語コミュニケーション専攻	国際文化学専攻、グローバルスタディーズ専攻
社会学研究科	社会学専攻、社会福祉学専攻	社会学専攻、社会福祉学専攻
先端理工学研究科	先端理工学専攻	先端理工学専攻
農学研究科	食農科学専攻	食農科学専攻
実践真宗学研究科	実践真宗学専攻	—

2) 募集人員 1名（日本語または英語で学位を取得することを目指す者1名）*

*以下のみ、英語で学位が取得できます。

経済学研究科 修士課程 経済学専攻（English-based Degree Program）

国際学研究科 修士課程 グローバルスタディーズ専攻

国際学研究科 博士後期課程 グローバルスタディーズ専攻

3) 応募資格 以下のすべての資格を有する者

- 難民、又は国際保護を必要としている者であり、日本政府により在留資格を付与されている者（日本国籍を有しない者）
- 修士課程においては、学校教育における16年の課程（原則として12年以上の外国における所定の学校教育を含む）を修了した者、または入学しようとする年の3月までに修了見込みの者、またはこれらと同等以上の資格があると龍谷大学大学院が認めた者。博士後期課程においては、外国において所定の学校教育（原則として12

年以上の課程)を修了(修了見込み)し、かつ大学機関で修士の学位を得た者(取得見込みの者)、またはこれらと同等以上の資格があると龍谷大学大学院が認めた者。

- 経済的な理由等により日本における高等教育の修学が困難な者
- プログラムの趣旨を理解し、学業に専念する強い意思を有する者であり、原則として授業科目を良好な成績で履修し、入学する課程の修業年限で修了できるとみなされる者
- 大学院の授業を受けるのに**必要かつ十分な日本語能力(英語で学位を取得することを旨とする者の場合は英語能力)**を有する者
- 龍谷大学大学院の定める出願資格を有していること(以下の入学試験要項を参照)

入学試験要項	試験種別		研究科											
			文	心理	経済	経営	法	政策	国際	社会	理工	農	実践真宗	
外国人留学生入学試験要項(4月入学)	大学院修士課程(正規留学生)	日本国内居住者	学科試験方式	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	大学院博士後期課程(正規留学生)	日本国内居住者	学科試験方式	○	○	○	○	-	○	-	○	○	○	-
大学院入学試験要項(4月入学)	修士課程	一般入試	学科試験方式	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
			書類審査方式	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
	博士後期課程	一般入試	学科試験方式	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
			書類審査方式	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
Application Guidelines April Enrollment Master's Degree Program in Economics	English-based Degree Program	Residents of Japan		-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-

GS…グローバルスタディーズ専攻

4) 奨学金の内容

就学するに当たって学生が支払うべき、学費(入学金、授業料、実習料)は大学側の負担になります。諸会費は免除されます。また、入学する課程の修業年限を上限として、修了までの期間において大学が定める額の生活支援奨学金が月額で支給されます。

なお、別途学外財団等の奨学金に応募できますが、採用が保証されるものではありません。

5) スケジュール

UNHCR/RHEP 難民教育推進協会による選考プロセス

● 募集期間	2026年7月3日(金)から2026年8月3日(月)まで
● 筆記試験	2026年8月22日(土)
● 面接試験	2026年8月29日(土)
● プログラムが龍谷大学大学院に推薦する者の決定	2026年9月上旬

龍谷大学大学院による選考プロセス ※詳細は「3) 応募資格」に記載の入学試験要項でご確認ください。

	国際学研究所 修士課程・博士後期課程	
	グローバルスタディーズ専攻	左記を除く専攻
● 龍谷大学大学院への出願*	2026年9月24日(木)～9月30日(水)	2026年10月1日(木)～10月8日(木)
● 龍谷大学大学院での選考	-	2026年11月8日(日)
● 結果の発表**	2026年11月14日(土)	2026年11月14日(土)

	文・心理・経済・経営・法・政策・社会・ 先端理工・農・実践真宗	経済・経営・政策・ 社会・先端理工・農	文・心理
	修士課程	博士後期課程	
● 龍谷大学大学院への出願*	2026年9月25日(金)～10月2日(金)	2026年12月7日(月)～12月11日(金)	
● 龍谷大学大学院での選考	2026年11月7日(土)	2027年2月20日(土)	2027年2月22日(月)
● 結果の発表**	2026年11月14日(土)	2027年2月26日(金)	

*出願書類を確認したうえで、RHEP事務局が龍谷大学大学院へ出願書類を提出します。

**本プログラムでは、龍谷大学大学院に推薦する学生を選考します。最終的な可否は龍谷大学大学院が決定します。

3. 応募方法

1) 提出書類：応募資格を確認し、以下のすべての書類を提出して下さい。

A. 推薦出願書	出願のためには、 2026年7月3日(金) から難民高等教育プログラムのホームページ (https://rhepalliance.org/application) 上で公開されている出願書を作成して下さい。 出願書のフォーマットは毎年変わりますのでご留意下さい。
B. 証明写真	証明写真を推薦出願書(1ページ目)に付けて下さい。
C. 卒業(見込)証明書または修了(見込)証明書、および成績証明書	最終学歴の教育機関発行の卒業(見込)証明書または修了(見込)証明書、および成績証明書。また、国際学研究科に、最終学歴が修士課程または博士後期課程の方が出願する場合、学部の卒業証明書および成績証明書も提出して下さい。 証明書を入手できない方は学歴に関する陳述書(成績に関する説明を含む)を提出して下さい。なお、成績証明書については、当該機関が発行する定型のものに、以下の情報が含まれているもしくは加えられているもの、また、同陳述書については、以下の項目を含む就学に関する情報をA4・1ページ程度で記載して下さい。 <ul style="list-style-type: none">卒業の年からさかのぼって3年以内に受講したすべての科目の修学内容、単位、成績など出欠席に関する情報(長期欠席の事実がある場合などは、その理由)特記すべき課外活動など修学・課外活動などに関連し、褒章などを受け、特に評価された活動に関する情報教育機関の性質(公立、私立、NGOによって運営されているもの、など)、当該機関の設置されている場所、授業の使用言語など 日本の学校を卒業した(する予定の)者のうち、推薦先の大学からの指定がある場合、出身高校の調査書の提出を求められることがありますのでご準備下さい。
D. 日本語能力を証明する書類	日本語検定試験の結果、日本語学校の修了書及び成績など、大学院の授業を受けるのに必要かつ十分な日本語能力を有するという事を証明する書類。定型はありません。 なお、以下の研究科への入学を希望する者は、日本語能力試験N1に合格していなければならない場合があります。詳細は「2. 募集内容 3) 応募資格」に記載の入学試験要項で確認して下さい。 <ul style="list-style-type: none">国際学研究科 修士課程 言語コミュニケーション専攻経営学研究科 修士課程
E. 日本語以外の語学能力を証明する書類	以下の研究科への入学を希望する者は日本語以外の語学能力を証明する書類を提出して下さい。詳細は「2. 募集内容 3) 応募資格」に記載の入学試験要項で確認して下さい。 <ul style="list-style-type: none">国際学研究科 修士課程、博士後期課程経済学研究科 修士課程 (English-based Degree Program)
F. その他の教育に関する情報(職業訓練など、正規の教育以外の教育)(任意)	正規の学校教育以外に受けた教育に関する情報のうち、今後就学するにあたり、関連性があるものについて、下記の項目を含む情報を提出して下さい。決められた様式はありません。(入手が難しい場合は、その旨説明した上で、入手できる分のみ提出して下さい。) <ul style="list-style-type: none">出願締切日までに受講したすべての科目の修学内容、単位、成績など出欠席に関する情報(長期欠席の事実がある場合などは、その理由)期間中に当該教育機関における修学に関連して行ったボランティア活動など特記すべき課外

	<p>活動</p> <ul style="list-style-type: none"> • 修学・課外活動などに関連し、褒章などを受け、特に評価された活動に関する情報 • 教育機関の性質（公立、私立、NGO によって運営されているもの、など）、当該機関の設置されている場所、授業の使用言語など
<p>G. 推薦状 1 通</p>	<p>推薦状は A4 で 1 枚から 2 枚程度にして下さい。推薦者は推薦状を封書に入れ、署名により封印をし、被推薦者の名前と「難民高等教育プログラム推薦選考の為の推薦状」と明記して被推薦者に渡して下さい。なお、推薦者は家族・親戚の方を除きます。</p>
<p>H. 難民の身分に関する証明書</p>	<p>(注意：以下の書類は正本ではなくコピーを提出して下さい)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 在留資格を示す書類（在留カードの写し*） 2. 世帯全てを示した住民票記載事項証明書（または住民票） <p>上記 1、2 に加え、下記の 3 から 6 のいずれか一つ（難民の子弟の方は、実親の難民の身分に関する証明書の写しとともに外国人住民登録書など親子の関係を示す地方自治体発行の書類）</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 難民認定証明書 4. 難民事業本部が発行する定住経歴証明書（インドシナ難民の方） 5. 法務省の発行する第三国定住難民であることの証明書または第三国定住難民の子であることの証明書（第三国定住難民の方） 6. その他、難民としての身分を示す書類 <ol style="list-style-type: none"> a) 難民申請の結果、人道的配慮によって在留を特別に認められた方については、担当弁護士、もしくは難民申請の手続きにおいて支援をした経緯のある NGO などの機関が作成した難民申請の背景に関する申告書を提出していただきます。 b) (明示的または非明示的に) 日本において国際保護を受けている方で、かつ日本において難民申請の経緯のない方については、政府機関発行の証明書もしくは身分を示す書類等、または来日に際して、もしくは日本における在留を実現するに当たって支援をした経緯のある NGO などの機関や弁護士等が作成した国際保護の必要に関する説明書を提出していただきます。提出していただいた説明書や証明書が要件を満たしていない場合は、追加で証明書の提出をお願いすることがあります。 c) 補完的保護対象者：補完的保護対象者認定証明書 <p>*外国人登録証明書が在留カードとみなされる期間はどちらのカードでもかまいません。</p>
<p>I. 家計を示す書類</p>	<p>父、母、出願者を含むその他の家族で家計を維持されている<u>すべての方</u>の年収・所得金額（申込の前年 1 年分）を示す書類（確定申告、源泉徴収票、給料証明、など）。親族等、扶養義務者による扶養（仕送り等の援助）の金額を示すもの、もしくは奨学金、就学支援金、その他の生活支援や生活保護など社会保障受給額を示すもの。</p>

- 応募書類は封筒に「難民高等教育事業応募書類在中」と赤ペンで書き、以下の住所まで簡易書留で郵送して下さい。
- 提出書類は全て 8 月 3 日（月）消印有効とし、8 月 3 日（月）を過ぎた消印があるものは受け付けません。郵便事情により多少日数がかかる場合もありますので、早めに提出して下さい。
- 応募書類は一切返却いたしませんのでご了承下さい。
- 応募書類を複数回送付することはご遠慮下さい。

2) 応募締切 2026 年 8 月 3 日（月）（消印有効）

3) 応募書類提出先

〒102-0084

東京都千代田区二番町 1-2 番町ハイム 431 号室

RHEP 難民教育推進協会気付 UNHCR 難民高等教育プログラム事務局

4. 選考

選考は書類選考、筆記試験、及び面接です。

1) 書類選考:

応募受付: **2026年7月3日(金)～2026年8月3日(月)** (消印有効)

締切日を過ぎて到着した応募書類につきましては、原則として受付いたしませんのでご了承下さい。

書類選考の可否結果については、**8月中旬までに、郵送をもって通知いたします。**

2) 筆記試験:

日時: **2026年8月22日(土)**

場所: オンライン実施 (詳細は出願後書類選考通過者に配布される受験票に記載)

上記の筆記試験日程は予定です。最終的な日程は、変更されることがありますので必ず書類選考の合格通知及び受験票をご参照下さい。

試験内容: 筆記試験は、日本語の試験、及び小論文を含みます。

3) 面接:

日時: **2026年8月29日(土)**

場所: オンライン実施 (詳細は出願後書類選考通過者に配布される受験票に記載)

上記の面接日程は予定です。最終的な日程は、変更されることがありますので必ず書類選考の合格通知及び受験票をご参照下さい。

筆記試験・面接の結果は9月上旬(予定)に郵送にてお知らせいたします。

- 電話や文書、メール等による可否の問い合わせには一切応じません。
- 推薦者の最終決定は UNHCR、RHEP 難民教育推進協会、教育機関/難民支援機関、及び語学学校関係者から組織される選考委員会が行います (予定)。
- 選考委員会の判断に基づき、合格者が募集人員に満たない場合もあります。

5. 龍谷大学大学院への推薦・龍谷大学大学院による選考

龍谷大学大学院における選考については、本プログラムによる推薦合格者に追ってご連絡いたします。大学への最終的な可否は、龍谷大学大学院が決定します。

なお、本プログラムの学生として奨学金を受ける者は、大学入学後、下記の報告・活動が義務付けられます。

- ① 学習報告レポートを、年2回 RHEP 事務局へ提出すること。
- ② RHEP 定期フォローアップ会合、および卒業後のインタビューへ参加すること。
- ③ 在学中に少なくとも一回、RHEP プロジェクト (☆) を主体的に実施すること。

(☆) 例えば、セミナー等にスピーカーとして参加するなど

※以上詳細に関しては、大学院への入学が決定した後、RHEP 事務局から説明があります

6. お知らせと免責事項

受験者への公平性を保つために、UNHCR、RHEP 難民教育推進協会及び選考委員会は、書類選考の過程、試験内容や合否に直接関わるような事柄については一切お答えしておりません。また同プログラムは受け入れ大学院との協働によって実施されますが、被推薦者の選考につきましては、プログラムの枠組みの中で行われますので、龍谷大学大学院へのお問い合わせは一切ご遠慮下さい。一方で、大学院の受験を希望される方は、事前に希望大学院の教授等にコンタクトをとり、希望する研究テーマを学ぶことができるか必ず確認のうえで出願してください。

なお、出願校を選択する際に現在の居所から所在を移す必要があることもあります。又、年次、希望の研究科などによっては、希望校の中でも、キャンパスの場所が変わることもあります。又、未成年が出願する場合、出願校及び学部の希望については、ご家族・保護者とよく相談をして当プログラムに出願して下さい。

UNHCR 及び RHEP 難民教育推進協会は、内部で定める守秘義務規定に沿って、個人情報の保護に努めます。出願者に関する個人情報を同事業及び同事業実績のとりまとめ、統計データの作成や広報活動等の業務遂行上必要な目的にのみ使用します。また、出願者に関する個人情報は龍谷大学大学院への推薦のために、必要に応じて同大学院に提供されます。

*プログラムは 2025 年より、UNHCR 駐日事務所と RHEP 難民教育推進協会が共同して運営しています。

以上